



2023年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年5月15日

上場会社名 株式会社スノーピーク 上場取引所 東
 コード番号 7816 URL <http://www.snowpeak.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役 会長兼社長執行役員 (氏名) 山井 太
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営管理本部長 (氏名) 金子 聡 (TEL) 03-6805-7738
 四半期報告書提出予定日 2023年5月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第1四半期の連結業績(2023年1月1日~2023年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第1四半期	6,479	△8.5	257	△72.5	328	△66.4	245	△61.7
2022年12月期第1四半期	7,084	40.4	935	67.0	976	54.9	642	56.4

(注) 包括利益 2023年12月期第1四半期 410百万円(△51.0%) 2022年12月期第1四半期 838百万円(29.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第1四半期	6.50	—
2022年12月期第1四半期	16.96	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第1四半期	32,120	15,257	46.7
2022年12月期	30,733	15,257	48.8

(参考) 自己資本 2023年12月期第1四半期 14,999百万円 2022年12月期 15,002百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	0.00	—	12.00	12.00
2023年12月期	—	—	—	—	—
2023年12月期(予想)	—	0.00	—	12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年12月期の連結業績予想(2023年1月1日~2023年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	36,000	17.0	5,000	36.1	4,930	36.7	2,849	46.4
								75.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年12月期 1 Q	38,140,000株	2022年12月期	38,140,000株
② 期末自己株式数	2023年12月期 1 Q	304,845株	2022年12月期	331,565株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年12月期 1 Q	37,815,512株	2022年12月期 1 Q	37,846,033株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（金額の表示単位の変更について）

当社の四半期連結財務諸表に表示される科目その他の事項の金額は、従来、千円単位で記載しておりましたが、当第1四半期連結会計期間及び当第1四半期連結累計期間より百万円単位で記載することに変更いたしました。なお、比較を容易にするため、前連結会計年度及び前第1四半期連結累計期間についても百万円単位で表示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	8
(収益認識関係)	8
(追加情報)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2023年1月1日から2023年3月31日)における我が国の経済は、新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが、5月より、5類に引き下げられる方針が決まったのを受けて、旅行・出張等の人の移動が活発になってきていることなどにより、経済活動が再開に向かっております。世界経済においては、ロシアによるウクライナ侵攻が継続していることや、米国における金融機関破綻を契機とした世界的な金融不安など、引き続き先行きに不透明感がある状況です。

当社グループが属するアウトドア業界につきましては、新型コロナウイルス感染症の落ち着きにより、昨年夏ごろより潮目が変わってきたと認識をしております。当社においては、昨年来の原材料価格高騰や円安の影響を鑑み、日本国内で、今年1月に、値上げを実施しております。そのような中でも、直営店での来店客数は前年比増加していることや、新規会員数も前年比で上回るなど、当社ブランドに対する需要の強さは確認されております。一方で、卸売先においては、アウトドア関連商材の在庫消化に向けた活動も確認されており、市場全体としての調整局面の継続も確認されております。

このような環境下において、当第1四半期連結累計期間における当社グループの業績は、以下の通りとなりました。

売上高 6,479百万円(前年同期比8.5%減)
営業利益 257百万円(前年同期比72.5%減)
経常利益 328百万円(前年同期比66.4%減)
親会社株主に帰属する四半期純利益 245百万円(前年同期比61.7%減)

国内での事業においては、直営店においては、値上げ後も、引き続き、来店客数が増加しており、売上も堅調に推移しております。更に、卸売においても、当社スタッフが常駐しているインスタ形態では、顧客との丁寧なエンゲージメントが功を奏し、売上は前年同月比を上回っております。一方、卸売の中のディーラー卸では、昨年来の他社ブランドでの在庫過多の状況が改善していないことから、当社商品のセルインが進まず、売上は前年同月比を下回る状況が続いております。

海外での事業については、新型コロナウイルスの落ち着きによる多様なレジャー需要の増加、インフレを起因とする景気悪化懸念などの影響を受けている地域もある一方で、好調な地域もあるなど、状況は地域によって異なります。

地域別の状況について、下記記載させていただきます。

韓国については、キャンプ需要全体は、底堅さは見られるもののコロナ禍の状態からは落ち着きも見られております。そのような市場環境において、当社は、アパレルを中心に、売上を伸ばし、好調に推移しました。台湾についても、キャンプ需要全体は韓国同様の状態であること、また、前年の実績が高いことから、売上はほぼ横ばいとなっております。昨年合弁会社を設立した中国については、韓国からのECアカウント移管や、卸売先との契約にやや時間がかかっておりますが、今後急拡大する市場と認識しており、合弁会社と連携を取りながら、しっかりと準備を進めて参ります。米国については、直販チャネルや自社ECは好調であり、ブランド認知は進んでいるものの、金融機関破綻に起因する景気後退懸念や、インフレ進行などの影響を受け、卸売では在庫調整が続いている結果、売上は前年対比減少しております。しかしながら、米国のアウトドア市場は巨大であることから、卸売先の新規開拓など販路を広げていく施策を進めております。英国については、米国同様、インフレ等の影響による景気後退懸念などの影響を受けておりますが、販路拡大を企図し、EU圏内での新規取引先の拡大を進めております。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末に比べ1,386百万円増加し、32,120百万円となりました。流動資産は、商品及び製品の増加2,385百万円等があった一方で、現金及び預金の減少484百万円、受取手形、売掛金及び契約資産の減少406百万円等により前連結会計年度末に比べ1,186百万円増加し、17,855百万円となり、固定資産は、Snow Peak USA, Inc. のキャンプ場「Snow Peak Campfield Long Beach」建設等による建設仮勘定の増加267百万円等により前連結会計年度末に比べ200百万円増加し、14,264百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ1,386百万円増加し、16,863百万円となりました。流動負債は、短期借入金の増加1,200百万円、買掛金の増加934百万円等があった一方で、未払法人税等の減少228百万円等により前連結会計年度末に比べ1,890百万円増加し11,039百万円となりました。固定負債は、契約負債の減少234百万円、長期借入金の減少204百万円等により、前連結会計年度末に比べ503百万円減少し、5,823百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加245百万円、繰延ヘッジ損益の増加114百万円等があった一方で、配当金の支払いによる利益剰余金の減少453百万円等により、前連結会計年度末に比べ0百万円減少し、15,257百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年2月13日に公表いたしました2023年12月期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,372	4,887
受取手形、売掛金及び契約資産	3,632	3,226
商品及び製品	6,057	8,443
仕掛品	225	251
原材料及び貯蔵品	270	292
その他	1,121	766
貸倒引当金	△10	△11
流動資産合計	16,669	17,855
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,561	6,460
土地	1,345	1,346
建設仮勘定	1,088	1,355
使用権資産(純額)	990	952
その他(純額)	763	778
有形固定資産合計	10,749	10,895
無形固定資産		
ソフトウェア	470	480
のれん	50	37
その他	45	45
無形固定資産合計	565	563
投資その他の資産		
投資有価証券	1,136	1,206
繰延税金資産	600	514
その他	1,011	1,084
投資その他の資産合計	2,749	2,805
固定資産合計	14,064	14,264
資産合計	30,733	32,120

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	737	1,672
短期借入金	5,298	6,498
1年内返済予定の長期借入金	816	816
契約負債	88	126
リース債務	182	187
資産除去債務	79	40
未払金	958	848
未払法人税等	511	282
役員業績連動報酬引当金	50	55
従業員業績連動報酬引当金	47	54
その他	380	456
流動負債合計	9,149	11,039
固定負債		
長期借入金	3,060	2,856
リース債務	888	856
退職給付に係る負債	107	115
契約負債	1,275	1,041
資産除去債務	330	331
役員退職慰労引当金	77	78
長期未払金	377	377
繰延税金負債	148	107
その他	61	59
固定負債合計	6,327	5,823
負債合計	15,476	16,863
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,779	2,779
資本剰余金	5,133	5,133
利益剰余金	6,683	6,474
自己株式	△533	△489
株主資本合計	14,062	13,897
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	359	412
繰延ヘッジ損益	△13	100
為替換算調整勘定	593	588
その他の包括利益累計額合計	939	1,101
非支配株主持分	255	257
純資産合計	15,257	15,257
負債純資産合計	30,733	32,120

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2022年1月1日 至2022年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2023年1月1日 至2023年3月31日)
売上高	7,084	6,479
売上原価	3,309	2,834
売上総利益	3,774	3,644
販売費及び一般管理費	2,839	3,387
営業利益	935	257
営業外収益		
受取利息	0	0
補助金収入	17	38
持分法による投資利益	1	—
為替差益	12	42
その他	18	12
営業外収益合計	49	93
営業外費用		
支払利息	3	7
債権売却損	1	1
シンジケートローン手数料	3	3
持分法による投資損失	—	6
その他	0	3
営業外費用合計	8	22
経常利益	976	328
特別利益		
固定資産売却益	0	—
資産除去債務戻入益	—	25
特別利益合計	0	25
特別損失		
固定資産除却損	3	—
特別損失合計	3	—
税金等調整前四半期純利益	972	353
法人税、住民税及び事業税	371	134
法人税等調整額	△39	△29
法人税等還付税額	△0	—
法人税等合計	331	105
四半期純利益	641	248
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	2
親会社株主に帰属する四半期純利益	642	245

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)
四半期純利益	641	248
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△14	52
繰延ヘッジ損益	—	114
為替換算調整勘定	211	△5
その他の包括利益合計	196	162
四半期包括利益	838	410
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	838	407
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	2

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、アウトドアライフスタイル事業を単一の報告セグメントとしております。その他については、量的に重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(収益認識関係)

当社グループはアウトドアライフスタイル事業という単一の報告セグメントであり、顧客との契約から生じる収益の内訳は以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)
ギア	5,793百万円	5,081百万円
アパレル	771	853
その他	518	545
顧客との契約から生じる収益	7,084	6,479
外部顧客への売上高	7,084	6,479

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染拡大に伴う会計上の見積り)

前連結会計年度末より、新型コロナウイルス感染拡大の影響に関する会計上の見積りの仮定に重要な変更はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。